

**ブレードスキャン®**  
**「2020年度 日本機械学会賞(技術)」を受賞**



株式会社 小糸製作所（本社：東京都港区、社長：三原弘志）が開発した、「ブレードスキャン®」が「2020年度 日本機械学会賞」において「日本機械学会賞（技術）」〔受賞件名：スキャン方式によるハイビーム配光可変ヘッドランプの開発と量産化（ブレードスキャン®の開発）〕を受賞しました。

この日本機械学会賞は、日本最大規模の学術団体、一般社団法人 日本機械学会が日本の機械工学・工業の発展を奨励することを目的に、画期的な新製品の開発や品質／生産性向上等により、日本の経済に貢献した技術に対して贈られるものです。

小糸製作所としては初の受賞となります。

今回受賞した「ブレードスキャン®」は、ハイビームの配光を自動制御するランプシステム「Adaptive Driving Beam（ADB）」の1つで、高速回転する2枚のブレードミラー（リフレクタ）にLEDの光を照射させ、光の残像効果を用いて前方を照射するスキャン方式を世界で初めて採用しました。

この新方式では、ブレードミラーの回転に合わせて12個のLEDの点消灯を制御することにより、LED約300個相当の高精細な配光を実現、対向車や前走車に対する遮光範囲を極めて小さくすることが可能となります。これにより、対向車や前走車の近傍や車両間のスペースを照射することができ、対向車側から歩行者が横断する際など、歩行者の早期発見につながり、交通事故低減に貢献します。

当社はこれからも、最先端の技術を追求し、お客様第一の製品開発に努め、クルマ社会の安全性・快適性の向上に取り組んで参ります。

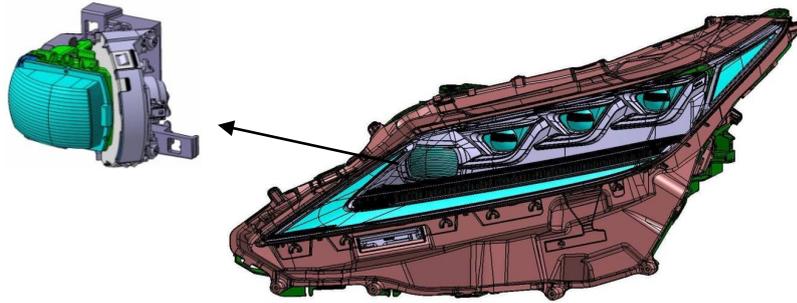
**【受賞内容】**

1. 受賞件名 スキャン方式によるハイビーム配光可変ヘッドランプの開発と量産化
2. 受賞者 滝井 直樹、山村 聡志、田中 秀忠、加藤 靖礼、櫻井 一利
3. 開発の内容 高速回転する2枚のブレードミラー（リフレクタ）の回転に合わせて、12個のLEDの点消灯を高速制御することにより、対向車や前走車の近傍や車両間のスペースの照射が可能となる高精細な配光を実現しました。  
本開発は、歩行者の早期発見による、交通事故低減に貢献します。

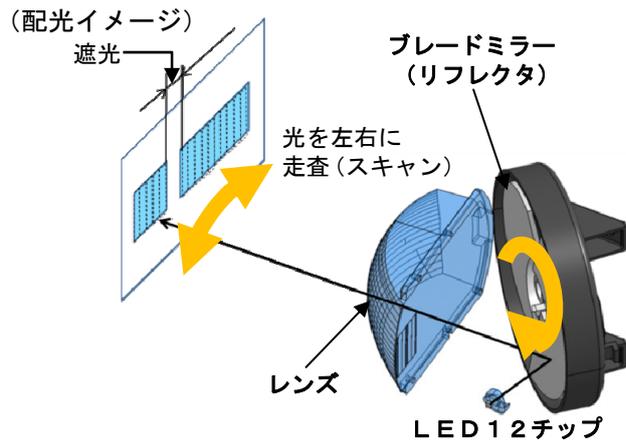
※「ブレードスキャン®」は小糸製作所の登録商標

( 参 考 )

■ ブレードスキャン® ADBユニット



■ ブレードスキャン®の原理概要



■ ブレードスキャン®のうれしさ

対向車や前走車の際まで照射することで、より遠方の歩行者を視認可能

<p><b>ブレードスキャン®</b> (LED12チップ+スキャン)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行者を視認できる</li> <li>・車両の際まで照射</li> </ul>	<p>BladeScan ↓ 歩行者</p>
<p><b>従来方式</b> (LED12チップ点消灯)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行者を視認できない</li> </ul>	<p>従来方式</p>
<p><b>ブレードスキャン®</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・より遠方の歩行者を視認</li> </ul>	<p>BladeScan</p> <p>56m</p>
<p><b>従来方式</b></p>	<p>従来方式</p> <p>32m</p>